

④生活・居住・滞在

ILCの運用に伴い、多くのILC研究者が研究施設周辺に居住すると考えられますが、内陸部にはない特長を有する本市にも、一定程度の研究者などが、居住・滞在することが予想されます。本市では、この分野の将来像を次のようにしています。

多彩な人々を受け入れながら 広域生活圏を拡大

■広がる行動圏とモビリティと生活圏連携の強化
・県南地域から気仙地域までを広域生活圏として位置付け、移動を支える道路や公共交通の拡充など、利便性向上のための取り組みを強化しながら、両地域間の連携促進を図ります。
・モビリティ（移動利便性・交通手段）技術の進化を注視しながら、官民連携による、家用交通と公共交通を包括した交通体系の多角化を模索します。

■大船渡市・気仙地域の「受け入れる力」を発揮

・各コミュニティで「受け入れる力」を発揮し、さまざまな国・地域からの来訪者・滞在者が居心地よく、容易に地元へ溶け込めるようなまちづくりを図ります。
・本市および気仙地域で連携し、宿泊および住居需要に適切に対応します。

ILC実現を契機として、さまざまな人を受け入れながら、気仙地域と県南地域の連携を軸とした広域生活圏を形成します。

⑤医療・教育・社会

ILC外国人研究者などへの対応はもろろんのこと、訪日外国人が増加傾向にある今においては、外国人受入環境の整備が喫緊の課題となっています。

また、生活圏・行動圏の中に世界的な研究施設が立地し、科学・物理が身近になること

により、幼少期から最先端の科学に触れながら育った子どもたちが、経験や努力を重ねながら、グローバルな感性を身につけることが期待されます。

本市では、この分野の将来像を次のように掲げています。

多くの人々が 未来を切り開く ことができるまち

■安全・安心なまちづくり

・二次保健医療圏の拠点である岩手県立大船渡病院を中心として、安心できる医療ネットワークの維持・強化に努めます。

・ILC実現に伴い、外国人研究者などの来訪・移住が想定されることから、県などの関係機関と緊密に連携した医療通訳サービスや医療機関、薬局などにおける外国語対応など、医療サービスの拡充を図ります。



【二次保健医療圏】5ページ用語解説参照

国際リニアコライダー(ILC)講演会を開催します

ILCは、政府からの関心表明を受け、国内外において関係機関などによる活発な議論が進められていますが、ILCの実現には、市民一人一人の意識の醸成や適切な受け入れ準備が必要となってきます。

このことから、ILCに関する理解を深めるため、講演会を開催します。

ILC実現に向け、市民全体で盛り上げましょう！

▷日時＝8月21日(水)午後1時30分～3時40分
※午後1時開場

▷会場＝リアスホール大ホール

▷講演内容

(1) ILC計画に関する最新の動向について
講師＝山下了さん（東京大学素粒子物理国際

研究センター特任教授）

(2) ILCを契機とした地域振興について
講師＝佐々木淳さん
（岩手県理事兼ILC推進室長）

▷参加料＝無料

▷申込方法＝電話、ファクスまたはEメールで
①参加団体名②担当者氏名③電話番号④所属部署⑤役職・学年⑥参加者氏名を連絡ください。

※個人の場合、①、②、④、⑤は不要です。

▷申込先／問い合わせ先

ILC推進室（☎内線216／FAX②4477／Eメール＝ofu_ilc@city.ofunato.iwate.jp）



■高レベルな教育機会の創出 グローバルな人材育成、未来を切り開く機会の創出

・子どもたちの成長を積極的にサポートしながら、世界に向けたグローバルな視点を持ち、ILCによる多様な効果・影響を最大限に享受するための取り組みをけん引する人材を育成します。
・ILC研究施設・関連施設や多様な立地企業などへの就労や関連する技術・知見を活用した産業振興など、将来を担う若者や子どもたちをはじめ、多くの人が、生まれ育った地元を大切に、地元で居ながら、夢と希望を抱き、未来を切り開くことができるよう、その可能性と選択肢の拡大を図ります。

生活者、来訪者双方の視点から安心できるまちであるとともに、多くの人がILCの恩恵と財産を生かしながら、未来を切り開くことができるまちづくりを進めます。

用語解説

■物流ハブ

ILCでは、多くの資機材が国内だけでなく海外でも製造され、海上輸送されます。

その多様で物量も多い各種資機材を大船渡港が拠点(ハブ)となり荷揚げし、建設候補地まで輸送することを想定しています。

また、本市では、物流ハブを単なる荷物を扱う拠点としての施設ではなく、荷揚げした資機材の検査、組み立て、保管などの機能も備える施設として位置付けています。

■スピノフ

特定の分野で開発された技術を民間の需要に転用すること。または、転用された技術を利用して生産された製品のこと。

■インキュベーション

起業や新事業の創出を支援し、その企業の育成・成長を促進させること。

■ランドバンク

空き家や空き地などを含む一定の地域を一体的に活用・再生する手法。

■二次保健医療圏

二次保健医療圏は、入院医療を中心とする一般の医療需要に対応するほか、広域的、専門的な保健サービスを効果的、効率的に提供するための圏域で、岩手県では9圏域に分けて設定。

本市は、陸前高田市、住田町とともに「気仙圏域」に区分されています。

■グリーンILC

ILCは、稼動に大きな電力負荷を伴う施設であり、消費された電力エネルギーは熱エネルギーへと変換され、従来の研究施設であれば、そのまま空中へ放出されていました。

近年、このような巨大電力施設については、持続可能なエネルギー供給でなければならないという考え方が国際基準となっており、その条件を満たすように立地されるILCを「グリーンILC」と呼びます。

グリーンILCは、次の4点を基本概念としています。

- ① ILC施設におけるエネルギーフロー（エネルギー資源の流れ）の合理化と持続可能なエネルギーの利用
- ② ILCからの排熱回収技術を生かした地域の排熱回収とそのオフライン輸送（温水配管などのパイプライン輸送ではなく、トラックなどによる車両輸送）
- ③ 地域の特徴を生かしたバイオマス利用によるエネルギーのオフライン輸送とILC関連施設の木造化
- ④ ILCと地域エネルギー供給事業との連携



グリーンILC(イメージ)